

仕事の世界、

清水学校長は「(同校で)学び、身に付け、体得したものを実社会の仕事の中で発揮してほしい」と述べた。卒業生を代表し答辞を述べた関花香さん(こども保育幼稚園科)は「より良い未来を切り開いていけるよう、さらなる努力をしていく」と誓った。

式典後は記念撮影やパーティーを実施。堀川

清水学校長は「(同校で)学び、身に付け、体得したものを実社会の仕事の中で発揮してほしい」と述べた。卒業生を代表し答辞を述べた関花香さん(こども保育幼稚園科)は「より良い未来を切り開いていけるよう、さらなる努力をしていく」と誓った。

式典後は記念撮影やパーティーを実施。堀川

清水学校長から証書を受け取る卒業生は原則としてマスク非着用、表情豊かに卒業の時を迎えた



川終斗さん(公務員専攻科)は「先生方の支えがあって、無事卒業一貢献できる人間になりたい」と話した。



でした。でも一足早い春がやってきたようです。(LoveMarry) 11月6日投稿

地域に猫の居場所を

上越地域を中心に犬や猫の保護・啓発活動を行う「しっぽのなかま上越」は9日、上越市五智の居多神社前駐車場で野良猫の不妊去勢手術を行った。

対象は、五智3や国府1付近などで捕獲された約15匹の野良猫。長野県の獣医師、松本信賢さんを招き、移動手術車で不妊去勢手術



犬猫の保護・啓発「しっぽのなかま上越」 獣医師が不妊去勢手術

を施した。野良猫は1〜2日の待機の後、元の場所に戻される。

同所では近年、野良猫による糞尿被害や敷地内で子猫が生まれるなどのケースが増加しているという。同団体は地域からの相談を受け、昨年10月に町内会長や行政職員、市議・県議らによるミーティングを実施。対策について協議し、この取り組みになった。

活動の根幹は野良猫を排除するのではなく

不妊去勢手術により増え、地域から飼い主の加を防ぎ、「二代限りの命を見守り、数年か



住民協力により野良猫を捕獲。施術後は元の場所に戻される

考え方。同団体の共同代表、横山とも子さんによると、寄せられる相談の約8割は野良猫に関するもの。猫の好き嫌いなどにより住民間で野良猫への対応が分かれ、トラブルに至るケースが多いという。

横山さんは「野良猫の問題は動物ではなく人の問題。住民が猫の習性や対処を知り、実践することでトラブルは解決できる。そのためにも私たちや地域、行政が協力し、できることをしていけたら」と話していた。

長野県の獣医師、松本信賢さんが施術を担当。新潟県では糸魚川市で定期的に野良猫の不妊去勢手術を行っている